



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp



2014 - 2015 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーに輝きを」

R.I. 会長 ゲイリー C.K. ホアン
地区ガバナー 鈴木 孝 雄

クラブテーマ 「全員参加で楽しく」

クラブ会長 尾 泉 良 和

本日の卓話

「ロータリー財団の活動(仮称)」

地区財団委員 木崎 重安 様

今後の卓話予定

11/19 「炉辺報告」

11/25 移動例会 (IM・パレスホテル東京)

2014年11月12日

第1384回例会

会長 尾 泉 良 和

幹事 潮 田 幸 一



年間100%出席

立野 秀一 君 1回

前回 (11/5 1383 回例会) の記録

来 訪 者 紹 介

◆ゲスト 3名

地区職業奉仕委員長 鈴木富士雄 様
東京セントラルパークR.C. 鈴木 一成 様
東京本郷R.C. 井田 吉則 様
越谷東R.C. 青木 伸翁 様

◆ビジター 1名

出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修 正 出 席 率
46名	2名	4名	36名	5名	87.80%	1381 回例会修正 欠席1名・出席率 97.56%

会長報告<尾泉会長>

・職業奉仕月間は10月だったのですが、都合により本日、地区職業奉仕委員長の鈴木富

士雄様に「ロータリーの奉仕の心」という
題で卓話をさせていただきます。

幹事報告<潮田幹事>

・東京北R.C.より前年度の活動報告が届いております。クラブ事務所にてご確認願います。

・11月のロータリーレートは1ドル=106円
です。

委員会報告

<斎藤次年度幹事>

・2015-2016年度ロータリー財団地区補助
金プロジェクトの審査が12月4日に決ま

りました。クラブを代表して矢野君が出
席していただく事になりました。

ニコニコボックス

<尾泉会長、潮田幹事>

・鈴木地区職業奉仕委員長様、本日の卓話よろしくお願いたします。

<斎藤、山尾、天笠、藤掛、宮村、岩戸、原田、永井、中村>

・本日の卓話「ロータリーの奉仕の心」地区職業奉仕委員長 鈴木富士雄様、宜しくお願いします。

<岩田>

・鈴木地区職業奉仕委員長、本日の卓話ありがとうございます。同行者である本郷ロータリークラブの井田さんは、私の事務所の先輩です。今後もメーカーなどでお世話になります。

<大塚、上原>

・日銀追加緩和の効果？ 日経平均株価、一時7年ぶりの ¥17,000。

<馬場>

・先日の「気仙沼を食す会」ではたくさんの方に御参加いただきありがとうございました。お陰様でとてもすばらしい会になりました。

<尾泉>

・うちの娘が11月より、月水土の午前中、皮膚科の診察を始めたので、お気軽に相談下さい。

<太田、古谷>

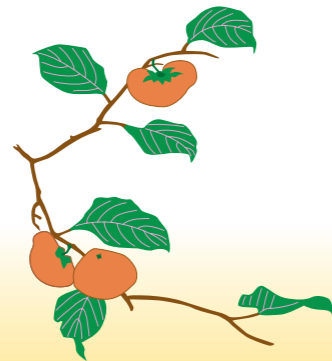
・秋山ソフト
日本シリーズ優勝おめでとう

<炉辺Aグループ同>

・Aグループ炉辺の残金をニコニコ致します。Aグループ一同。

<立野、矢野、中村>

・お誕生日のお祝いをして戴き、有難うございました。



卓話

ロータリーの奉仕の心

地区職業奉仕委員長 鈴木 富士雄氏

本日は、職業奉仕あるいはその根源であるロータリーの奉仕の理念というものを振り返り、奉仕の理念そのものがいかなる形で発生し、どのような変遷を経て今日のロータリーの目的あるいは指針となってきたかを勉強してみたいと思います。そのためにDVDを作ってきましたのでそちらをご覧ください。

いかがでしたでしょうか。ロータリーの最初の頃は奉仕の理想あるいは奉仕の理念でしたから、その頃はまだ職業奉仕という言葉はなかったと思います。ロータリーの目的のところに、奉仕の理念を育む、とあり、その目的が職業奉仕の理念につながってきていると私は考えています。今年度、地区委員会としては、奉仕の心ということ勉強してきました。

約30年前、私はアメリカのマイアミで歯科診療哲学というものを教わりました。それまではどちらかといえば入れ歯の作り方とか歯の根の治療の仕方、あるいは歯周外科といったようなテクニック上の勉強会や学会は多くありましたが、フィロソフィといいますが、歯科診療哲学とでもいったものを学んだのは初めてでしたので、最初はびっくりしました。

歯科診療の報酬は、リワードといって、マテリアル、すなわち金銭的な報酬と、そしてスピリチュアルと呼ばれる精神的な報酬があり、それを得るうえで必要なものの一つが Know Your Patient、自分の患者さんをよく知りなさいということです。そして Know Your Work、自分の仕事についてきちんと勉強しているか、スキルはしっかりしているかどうかということと、Know Yourself、自分自身について理解していることの3つが必要になるとされました。そして、そうしたことをすべて患者さんのために応用しなさい、そうすれば結果として金銭的利益と精神的満足が得られる、というわけです。まさにロータリーの職業奉仕と同じく、まず相手のために最善のサービスをすることにより、その結果として最大の金銭的利益と最高の精神的満足が得られるということと似ています。

私は2010年から2011年度の渡辺元ガバナー補佐が地区職業奉仕委員長をされた時に副委員長を仰せつかり、そのとき京都老舗17店舗に学ぶ、という冊子を作成して東京のロータリアン全員に配布しました。そこ

に記された老舗の経営姿勢や顧客に対する接し方は、まさに自分が30年前からやってきた歯科診療の哲学と全く同じであることを知り、それから私はロータリー活動に没頭するようになりました。

6年ほど前の話になりますが、九州でロータリアンが経営するホテルに泊まりました。そのロータリアンが若者へのメッセージという題で卓話をした時の資料を見せてもらったところ、雇う側の責任として、そこで働く従業員の将来の夢や目標、あるいはキャリアプランについて当人たちと話し合いをし、それに見合ったトレーニングや教育をして彼らが立派に育っていくようにすることはマネジメントの責任だ、とありまし

た。歯科医院の理事長としての従業員に対する責任ということを教わりました。

私たち歯科医師の世界では、以前はドクター、技工士、衛生士、歯科助手といった人たちがそれぞれ分担して仕事をしていたのですが、15、6年前からはそれぞれが情報を持ち寄り、患者さんを中心として皆で一緒に治療に取り組んでいくという教育が変わってきました。

将棋の大山名人は、試合をしたホテルからタクシーで帰る際、タクシーが走り出してから後ろを振り返った時にホテルの従業員がまだ見送っているかどうかでホテルの善し悪しを決めていたそうです。うちの歯科医院では、患者さんが治療を終えられて帰るときは、玄関までうちの家が送っています。そうすると病院の中では言ってくれないようなことも患者さんは話してくれます。長いときは30分くらい話し込むこともあるようです。そのおかげかどうか、最近では患者さんも大変増えております。

アメリカから帰った当時は、そこで学んだことがすべてだと思い、患者さんとぶつかることもあり、患者さんが離れた時期があります。それが、患者さんをよく理解するよう努めるようになってからは、また患者さんが戻ってきました。私たちは患者さんが何を求められているのか、口腔内のことはもちろん、体の健康状態から、さらには家庭環境までいろいろと教えていただく必要があると思っています。そうしたことを私はロータリーでも多く教えられたように思います。

